

秋保大滝植物園だより No.11 秋号

園内に咲く四季折々の花や色とりどりの実、季節を告げる生きものなどの自然の情報を、季節をおってお届けします。今回は秋です。尚、バックナンバーは(公財)仙台市公園緑地協会ホームページ「杜のひろば」よりダウンロードできます。



キヅタ【木蕁】(フユヅタ) 花：10月
つる性常緑木本。若い枝の葉は3～5
裂する。実は翌年に黒く熟す。



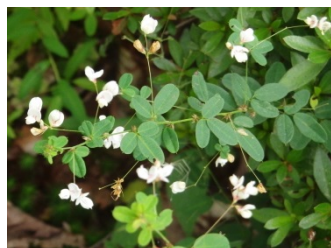
ジャコウソウ【麝香草】 多年草
花：9月 茎や葉に良い香りがある。
彩とりどりの花畑で見ることが
できる。



イヌコウジュ【犬香薷】 一年草
花：8月下旬～9月下旬 花は見過
ごしてしまうほど小さくて目立たな
い。シソの仲間だが香りはない。



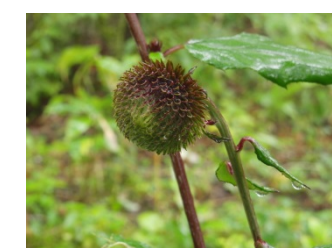
ダンギク【段菊】 園芸品 花：9月
中旬～10月上旬 キクという名が
ついているが、クマツヅラ科の植物。
葉の付け根から段段に花を咲かせる。



マキエハギ【蒔絵萩】 小低木花：8
月下旬～9月中旬
萩の仲間の中ではとても小さくて弱
弱しい。



ススキ【芒】 多年草 花：8月～
秋の七草のひとつ。昔はかやぶき屋
根の材料に使われ、秋保でも育てる
ための茅野が見られた。



オヤマボクチ【雄山火口】 多年草
花：9月下旬～10月中旬 山菜名
はヤマゴボウ。葉は「ゴンボツバ」と
いう名で草餅に利用される。



シュウメイギク【秋明菊】 園芸品
花：9月下旬～10月中旬
園内には3種のシュウメイギクが
あり、その中の桃色の品種。



オニツルウメドoki【鬼蔓梅擬】 (実)
実：10月下旬～11月 落葉つる性
木本 雌雄異株。ツルウメドokiの
変種で、葉裏の脈状に突起毛がある。



ヤブマメ【藪豆】 つる性一年草
花：9月上旬～下旬 園内のいたる
ところに生えている。花は小さいが
紫と白のコントラストがきれい。



ノハサガ【野大角豆】 つる性多年草
花：9月上旬～中旬 花のガク片に
ギザギザがなく、斜めにスパッと切つ
たような形なのが特徴。花は黄色。



ホオズキ【鬼灯・鬼灯】 (美) 園芸品
実：8月中旬～11月



サワフタギ【沢蓋木】 (ルリミノウシ
コロシ) 実：9月上旬～10月 瑠
璃色に熟す実は美しく人気がある。
園内の自然林に多く見られる。



センダングサ【梅檀草】 一年草
花：8月下旬～9月下旬 実には下向
きの毛があり、動物の身体にくっついて
子孫を遠くまで運ばせる。



ハナイソギク【花磯菊】 園芸種
花：10月下旬～11月中旬
イソギクと栽培のイエギクの交雑した
もので白い舌状花を持つのが特徴。



アキヤマタケ【秋山茸】 キノコ
発生時期：9月上旬～10月中旬
傘は、とてもきれいなレモン色～橙
黄色で、湿時粘性がある。



キンモクセイ【金木犀】 花：10月
花に良い香りがある。空気が汚れてい
ると、花の付きが悪いといわれている。



サラシナショウマ【更科升麻】 多年草
花：9月下旬～10月中旬
長さ20～30cmの花穂を出し、小さな
白色花を密につける。



コンギク【紺菊】 園芸種
花：9月下旬～10月下旬
ノコンギクの園芸品で、青紫が濃い。



ニホンリス【日本栗鼠】 齧歯目
出会うことは少ないが、四季
を通して生息している。冬に、
雪の上に残された足跡を沢山
観ることができる。